



一般社団法人 佐賀県ソフトボール連盟 広報誌 No5

一般社団法人・佐賀県ソフトボール連盟基本理念

私たち県連盟は平成27年4月1日より組織改革を行いました。公正な運営を第一に、ソフトボール競技の益々の普及を目指していきます。プレイヤーあつての連盟との理念に基づきチームの皆様や諸機関のご意見に真摯に耳を傾けた運営に努める所存です。

一般社団法人・佐賀県ソフトボール連盟 ご挨拶

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。皆様には、佐賀県ソフトボール連盟の運営にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度は、春の全国高等学校選抜大会、九州実年大会、九州中体連、国体九州ブロックといった、全国、九州大会を当県にて開催することができました。これもひとえに皆様のご協力によるものと感謝申し上げます。このような主要大会を佐賀県連盟に仰せつかりましたことは大変名誉なことであるとともに、2023年に控える佐賀県スポーツ大会へ向けて、大会運営の経験と課題の洗い出し、審判員の技術養成に多大な成果を上げることができました。この経験を今後の大会運営に生かしていきたいと考えていますので、引き続きご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、少子化に伴って全国的な課題となっておりますソフトボール競技人口の減少につきまして、当県においても歯止めが利かない状態となっています。県内最大のチーム登録数を誇る伊万里市では最盛期に200チームの登録数がありましたが現在は90チーム程度、佐賀市では最盛期では250チームの登録がありましたが現在では50チーム程度まで落ち込みました。少子化に加え、スポーツ種目の多様化に伴った結果ではありますが、ソフトボール競技ならではの魅力、楽しさというものがありますので、その点をもっとアピールし、スポーツ愛好家の皆様の選択肢の一つにソフトボールが入ってくるようにしていければと考えています。

ソフトボール愛好家の皆様がこれまで以上にソフトボールを楽しめるように、各チーム並びに関係各位のご意見にも耳を傾けながら、創意工夫を重ねていきたいと考えていますので、皆様の益々のご協力をよろしくお願い申し上げます。

● 平成31年度と令和元年の試合結果

本年の試合も残すところ僅かとなりましたがこれまでの試合結果を抜粋して掲載いたします。

「佐賀女子ベスト16進出！」

◆ 全国高等学校女子ソフトボール選抜大会 3月16日～20日 佐賀県佐賀市

平成31年3月16日(土)、都道府県の1位が佐賀県に集結した高校ソフトボールの春の祭典、全国高等学校女子ソフトボール選抜大会の熱い戦いの火ぶたが切られました。県勢では、佐賀県1位の佐賀女子と、地元開催枠の佐賀県2位の鹿島・鹿島実・鹿島新の二校が出場しました。

佐賀女子は1回戦で徳島県立池田高等学校辻(徳島)と対戦しました。初回に打線が爆発し、一挙6点を奪って試合を決定づけました。その後も加点を重ね、7-0で勝利しました。続く2回戦では文化学園長野(長野)を3-0で下しました。

3回戦、千葉経済大附属（千葉）と対戦しました。2回表に千葉経済大附属の杉浦選手が放った先制の豪快なセンター柵越えソロホームランに会場が驚きに包まれました。佐賀女子は1点を失ったものの、その後は中村投手の好投と堅実な守備で粘り強く戦い、打線も徐々に千葉経済大附属の大江投手の速球に慣れ、芯でとらえ始めるなど、一進一退の互角の展開が続きました。迎えた6回裏、佐賀女子は得点圏に進めた走者をタイムリーヒットで返し、待望の1点を挙げ、1-1の同点としました。迎えた7回表、千葉経済大附属は一気呵成の攻めで3点を奪い、勝敗が決しました。しかしながら、見事全国ベスト16に進出し、佐賀女子の投手力、守備力、攻撃力が全国トップレベルの強豪と十分に競り合える力が有る事を証明し、今後の活躍が期待される大会となりました。

鹿島高・鹿島実・鹿島新は1回戦で全国屈指の実力校、埼玉栄（埼玉）と対戦しました。初回に2点をリードしましたが、7点を奪われ2-7で敗れました。しかしながら、この対戦は全国の風を浴びる絶好の機会となり、3か月後に訪れる高校総体で大きく飛躍を遂げることとなります。

第1日	2019年03月16日	1回戦	試合時間：01時間10分	試合番号	12												
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考
徳島県立油田高等学校		0	0	0	0	0										0	
佐賀女子高等学校		5	0	0	2	x										7	
先攻	(投手) ●佐々木 小桜、高木 美羽 (捕手) 長江 乃愛																
後攻	(投手) ○中村 美穂、上田 香奈 (捕手) 片岡 美結																
先攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打)																
後攻	(本塁打) 川辺 実久、菱谷 香実 (三塁打) 藤本 音羽 (二塁打)																
特記事項																	

第2日	2019年03月17日	2回戦	試合時間：01時間27分	試合番号	28												
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考
佐賀女子高等学校		0	0	1	0	0	2	0								3	
文化学園長野高校		0	0	0	0	0	0	0								0	
先攻	(投手) ○中村 美穂、上田 香奈 (捕手) 北村 葵実																
後攻	(投手) ●岸 優由香 (捕手) 北村 葵実																
先攻	(本塁打) (三塁打) 菱谷 香実 (二塁打) 中村 美穂②																
後攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打)																
特記事項																	

第3日	2019年03月18日	3回戦	試合時間：01時間34分	試合番号	38												
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考
千葉経済大学附属高等学校		0	1	0	0	0	0	3								4	
佐賀女子高等学校		0	0	0	0	0	1	0								1	
先攻	(投手) ○大江 真尋 (捕手) 大宮 なつみ																
後攻	(投手) ●中村 美穂 (捕手) 片岡 美結																
先攻	(本塁打) 杉浦 穂華 (三塁打) (二塁打) 大宮 なつみ																
後攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打) 木村 愛																
特記事項																	

第1日	2019年03月16日	1回戦	試合時間：01時間32分	試合番号	3												
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考
埼玉栄高等学校		0	0	0	0	4	3	0								7	
県立鹿島・鹿島実・鹿島新高校		0	2	0	0	0	0	0								2	
先攻	(投手) ○鈴木 蒼 (捕手) 片居木 胡那																
後攻	(投手) ●小野 優子、納富 夕希 (捕手) 栗原 葵																
先攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打) 飯島 葉々子																
後攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打) 於保 伊吹																
特記事項																	

「県中学生選抜チーム、勇躍ベスト8！」

◆ 都道府県対抗全日本中学生女子大会 平成31年3月24日～26日 愛媛県松山市他

第15回都道府県対抗全日本中学生女子大会が、平成31年3月24日（日）～26日、愛媛県松山市他で開催されました。都道府県毎に選抜されたチームによる戦いで、佐賀県選抜チームも、各中学校からの有力選手によるチーム構成で出場しました。佐賀県選抜は2回戦からの出場となり、宮城県選抜を10-1で破り、見事初戦を突破しました。佐賀県選抜の最大のハイライトシーンは、3回戦の静岡県選抜との戦いです。全国トップレベルの大阪府選抜、神奈川県選抜のパートから進出してきた静岡県選抜との戦いは、予想通りの厳しいものとなり、1-3のスコアが動かず苦しい展開が続きましたが、最終回7回表、2点を返し、3-3の同点に追いつき、延長戦に突入となりました。タイブレーカー8回表、待望の2点を奪い5-3と、ついに勝ち越しに成功しました。その裏、手に焦る展開の中、静岡県選抜を1点で抑えきり、5-4で劇的勝利を飾りました。

準々決勝では1-4で敗れましたが、佐賀県勢中学生初のベスト8進出を果たしました。

第1日	2019年03月24日	2回戦	試合時間：01時間21分	試合番号	32												
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考
宮城県ジュニア選抜		0	0	0	0	1										1	得点差ロード
A.L.L佐賀		2	0	0	8	x										10	
先攻	(投手) ●齊藤 友南、鈴木南々香、早坂 青空、高橋柚季菜 (捕手) 生可 愛																
後攻	(投手) ○河野みはる、塚原 早紀 (捕手) 西山 舞、園田 紗也																
先攻	(本塁打) 大柳 菜心 (三塁打) (二塁打)																
後攻	(本塁打) 宗田 花南、西山 舞、小松 優月 (三塁打) (二塁打)																

第2日	2019年03月25日	準々決勝	試合時間：01時間36分	試合番号	44												
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考
栃木県選抜		0	0	1	3	0	0	0								4	
A.L.L佐賀		0	0	0	0	1	0	0								1	
先攻	(投手) ○鈴木 蒼、増淵 安月、鈴木 昌 (捕手) 八木沢結菜																
後攻	(投手) ●河野みはる (捕手) 西山 舞、園田 紗也																
先攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打) 鈴木 昌、八木沢結菜																
後攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打) 西山 舞																

第2日	2019年03月25日	3回戦	試合時間：02時間05分	試合番号	40												
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考
A.L.L佐賀		1	0	0	0	0	2	2								5	8回からタイブレーカー
静岡県選抜		1	2	0	0	0	0	0	1							4	
先攻	(投手) ○河野みはる (捕手) 西山 舞																
後攻	(投手) 神谷 百花 ●杉本 葵 (捕手) 村松 鮎実																
先攻	(本塁打) (三塁打) (二塁打) 小松 優月 西山 舞																
後攻	(本塁打) (三塁打) 松浦 祐生 (二塁打) 長嶋 涼奈、望月 理帆、杉山 果穂																

令和元年6月9日、有田町中央公園にて開催された全日本総合選手権県予選の決勝は、トヨタ紡織九州と佐賀スラッガーとの対戦になりました。

1回表、佐賀スラッガーは4番深川清一郎選手の適時打で先制します。1回裏、トヨタ紡織九州は3番井手大輔選手が走者を置き適時二塁打で追いつくと、4番村里晃陽選手の2点適時打で逆転に成功し、7番児玉大輔選手の犠牲フライで1点を加点しました。4回表、佐賀スラッガーは1番正林優哉選手の1点適時打で追いかけます。5回裏、トヨタ紡織九州は3番井手大輔選手のバントで守備の乱れを誘い加点しました。最終回7回表、佐賀スラッガーは失策絡みで2点を返しましたが、追い上げ及ばず、5-4でトヨタ紡織九州に軍配が挙がりました。

トヨタ紡織九州の土師投手は安打されるも完投しました。佐賀スラッガーの椿山投手は初回到4点を失ったものの、高い制球力で実力を見せました。

◆ 全日本実年選手権佐賀県予選 5月26日、6月2日 佐賀市

佐賀県佐賀市のスポーツパーク川副をメイン会場に行われた全日本実年ソフトボール選手権佐賀県予選会は、佐賀友誘クラブが紺友クラブを9-2で破り優勝しました。佐賀友誘クラブの柏原投手は初戦から決勝戦までオール完投の活躍でした。

◆ 全国高校総体佐賀県予選 6月1日、2日 佐賀市

令和元年6月1日、2日にかけて佐賀市健康運動センターにて行われました高校総体佐賀県予選は鹿島高・鹿島実・鹿島新が佐賀女子を1-0で下し優勝しました。

0-0で迎えた4回裏鹿島は、先頭打者3番の蒲田選手が中前打で出塁、二死走者二塁の好機を6番保選手の二塁打が飛び出し蒲田選手が生還しました。この1点が決勝点となりました。鹿島は今大会初登板の多良投手を決勝戦の先発に起用しました。佐賀女子は左打者が多いため、左腕の多良投手を起用したものと推測されます。多良投手は5四球、1死球で、投球数は118球と球数を費やしましたが強打の佐賀女子を3安打完封の好投。対する佐賀女子は昨日の準決勝の佐賀東戦の三番手大石投手を起用し、無四球で球数60球、3安打1失点の好投でした。



◆ 全日本クラブ選手権九州地区予選 6月1日、2日 鹿児島県

令和元年6月1日、2日にかけて鹿児島県にて開催された全日本クラブ男子選手権九州地区予選にはダイワアクトと佐賀スラッガーが出場しました。

佐賀スラッガーは1回戦で三吉電業SC（福岡）に5-4で勝利しました。2回戦で山口水産（鹿児島）に0-7で敗れました。代表決定戦に進出しましたがV.V.NAGASAKI ブラックス（長崎）に2-8で敗れ出場権を逸しました。ダイワアクトは1回戦で西福岡クラブ（福岡）に8-3で勝利しました。2回戦で墨谷二中OBに2-3で敗れましたが、代表決定戦に進出し、福岡NSスラッガーズ（福岡）に6-0で勝利し全国大会出場権を得ました。

全日本クラブ女子選手権九州地区予選にはひらまつ病院SAGAオールスターズが出場しました。ひらま

つ病院SAGAオールスターズは2回戦からの登場となりましたが、アルソック鹿児島オールウェーブ（鹿児島）に0-10で敗れました。

◆ 全九州実年大会 令和元年6月15日（土）、16日（日） 西松浦郡有田町及び武雄市

これまでフェンス使用の大会は佐賀市、武雄市をメイン会場としてきましたが、有田町で外野フェンスを購入したため、有田町内でもフェンス使用の大会の開催が可能となりました。伊万里クラブ、唐津クラブとも九州の強豪と互角の戦いを演じ、佐賀県の実力を見せてくれました。

第1日	2019年06月16日	1回戦														試合時間: 01時間25分	試合番号	1
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考	
日向アンクルズ実年		0	0	1	0	0	5									6		
伊万里倶楽部実年		0	1	0	0	4	0									5		
先攻 (投手) 黒木 敏伸、○伊藤 守 (捕手) 松葉 浩喜																		
後攻 (投手) 力武 幸久、●梅崎 直雄 (捕手) 山口 成人																		
先攻 (本塁打) (三塁打) 知藤 英嗣、河野 哲司②																		
後攻 (本塁打) 松尾 文剛 (三塁打) (二塁打)																		
特記事項																		

第2日	2019年06月16日	1回戦														試合時間: 01時間21分	試合番号	7
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考	
鹿児島鐘文クラブ		0	1	0	0	1	0	0								2		
唐津クラブ		0	0	1	2	0	0	x								3		
先攻 (投手) 川原 勇次、●福森 茂広、江口 一也 (捕手) 瀬野 利文																		
後攻 (投手) ○宮崎 仁 (捕手) 常任 茂文																		
先攻 (本塁打) 永山 格尚 (二塁打) 上赤 博幸																		
後攻 (本塁打) (三塁打) 山本 護 (二塁打)																		
特記事項																		

第2日	2019年06月16日	準々決勝														試合時間: 01時間19分	試合番号	12
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	備考	
スペシャル長崎		1	0	0	0	3	0	0								4		
唐津クラブ		0	0	0	0	2	0									2		
先攻 (投手) ○森下 浩昭、白濱 元博 (捕手) 馬場 一生																		
後攻 (投手) ●宮崎 仁 (捕手) 常任 茂文																		
先攻 (本塁打) (三塁打) 服部 和浩																		
後攻 (本塁打) (三塁打) 山本 護 (二塁打)																		
特記事項																		



◆ 全日本総合九州地区予選 6月29日～30日 福岡県(男子)、長崎県(女子)

全日本総合九州地区予選男子にはトヨタ紡織九州と佐賀スラッガーが出場しました。トヨタ紡織九州は1回戦で吉塚クラブ（福岡）に0-13で敗れました。佐賀スラッガーは1回戦で福吉工業ソフトボールクラブ（鹿児島）に4-13で敗れました。

全日本総合九州地区予選女子にはひらまつ病院SAGAオールスターズが出場し、2回戦からの登場となりましたが、福太郎めんべい（福岡）に0-7で敗れました。

◆ 佐賀県中学校総合体育大会 7月24日、25日 伊万里市

令和元年7月24日、25日にかけて伊万里市において開催された佐賀県中体連決勝は、大和中と千代田中による対戦となりました。1回表、大和中は1番小松選手の先頭打者本塁打で先制し、さらに鈴木選手の適時打で加点、江口選手の適時打で2点を挙げ、計4点を先制しました。大和中は2回には大串選手の2点適時打、犬塚選手の1点適時打で加点しました。対する千代田中は、2回裏に内川選手の1点本塁打、3回裏には古川選手の適時打で1点を返しました。しかし大和中は、4回表、鈴木選手の右中間を破る3点本塁打、江口選手の1点本塁打で加点し、勝負を決定づけました。



「全国の強豪と息詰まる投手戦を演じる！鹿島高・鹿島実・鹿島新！」

◆ インターハイ 7月28日～31日 宮崎県

インターハイ出場の栄冠を勝ち取った鹿島高・鹿島実・鹿島新は1回戦で学法石川（福島）との対戦となりました。試合内容は互角で安打数も同じでした、この打席まで2三振と打ち取っていた学法石川の2番草野選手に投じた一球が甘く入り、中越え1点本塁打を被弾しました。これが決勝点となり、0－1で敗れました。

◆ 九州中学校総合体育大会 8月8日～9日 佐賀市

佐賀県1位の大和中は1回戦で本渡中（熊本）との戦いとなり、緊迫した投手戦が続きましたが、タイムリーヒットでじわじわと引き離し、堅守で1失点に抑え、6－1で見事初戦突破しました。2回戦は優勝候補の神村学園（鹿児島）との対戦となりました。圧倒的打力と投手力を誇る神村学園に真正面からぶつかる戦いでしたが0－9で敗れました。佐賀県2位の千代田中は1回戦で宅麻中（熊本）との対戦となり、14－4で快勝しました。2回戦は波佐見中（長崎）との対戦となり、2－5で敗れました。佐賀県代表が2校とも見事初戦を突破し、佐賀県の実力を九州の有力校に見せた戦いぶりでした。

◆ 国民体育大会九州ブロック大会 8月17日～18日 佐賀市

国民体育大会九州ブロック大会を佐賀県にて開催することができました。成年男子は1回戦で熊本県を5－2で破り代表決定戦に進出しましたが、宮崎県に0－1と惜敗しました。成年女子は1回戦で鹿児島県に2－14で敗れました。少年男子は1回戦で沖縄県に0－5で敗れました。少年女子は1回戦で鹿児島県に2－7で敗れました。4年後に開催される国民スポーツ大会に向け躍動して貰いたい。

◆ 早起き佐賀県大会 8月18日、9月8日、15日、10月27日 佐賀市

大丸スポーツは先発山口博が2回にトヨタ紡織九州の5番田中選手に右翼への先制本塁打を浴びたが、安打を打たれるも丁寧なピッチングで1失点完投しました。大丸スポーツは長短打を上手く絡め大量得点に結びつけ、9－1で初優勝を果たしました。トヨタ紡織九州は連覇を逃しました。

◆ 佐賀新聞社旗大会 9月29日、10月6日、10月13日 佐賀市

5回まで1対1の同点で迎えた6回裏、佐賀スラッガーは先頭が四球で出塁1番正林選手が三塁への送りバントで進塁させ、3番松永（勇）選手が右翼前に運び加点し勝敗を決めました。その後も4番白武が右翼越えの本塁打で加点、一方トヨタ紡織九州も佐賀スラッガーに打撃では互角の戦いをしたが勝負所で後一本が出ませんでした。佐賀スラッガーが6－1でトヨタ紡織九州を破りました。

